

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年1月5日(2023.1.5)

【公開番号】特開2021-61922(P2021-61922A)
 【公開日】令和3年4月22日(2021.4.22)
 【年通号数】公開・登録公報2021-019
 【出願番号】特願2019-187142(P2019-187142)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年12月22日(2022.12.22)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、
音出力手段と、
表示手段と、
発光手段と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段と、
遊技者の操作に応じて遊技媒体を発射可能な発射手段と、
を備え、
前記演出実行手段は、
前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出と、
前記特別状態に制御されることを報知する特別状態表示を表示可能な特別状態報知演出と、
第1領域と第2領域とのうち、該第2領域に向けて遊技媒体を発射させることを遊技者に促す案内表示を表示可能な案内表示演出と、を実行可能であり、
前記案内表示は、第1案内表示と、該第1案内表示よりも視認性の低い第2案内表示と、を含み、
前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域と、を含み、
前記特定演出は、
前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出し、前記発光手段が発光する演出であり、
第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であつて、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、
前記演出実行手段は、
前記第1表示領域において、前記演出動画と、前記特別状態表示と、前記第1案内表示と、を表示可能であり、

30

40

50

前記第2表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間において、

演出結果として有利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、

10

演出結果として不利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示した状態で、前記第1表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、

前記第1期間と前記第2期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第2期間において、前記第1期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0003】

このような遊技機として、リーチ演出としてバトル演出とタイマー演出とを同時期に実行可能であり、バトル演出中は、該バトル演出の再生速度を低速にするスローモーション演出を更に実行可能となっているものがある（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0004】

【特許文献1】特開2017-99801号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、特許文献1にあっては、スローモーション演出としてバトル演出の再生速度を低速にすると、タイマー演出の進行速度も併せて低速となるため、遊技者に対して違和感を与えてしまうという問題がある。

40

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、遊技者に対して違和感を与えてしまうことを防止できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
可変表示を実行可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

音出力手段と、

表示手段と、

発光手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段と、

遊技者の操作に応じて遊技媒体を発射可能な発射手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出と、

前記特別状態に制御されることを報知する特別状態表示を表示可能な特別状態報知演出と、

第1領域と第2領域とのうち、該第2領域に向けて遊技媒体を発射させることを遊技者に促す案内表示を表示可能な案内表示演出と、を実行可能であり、

前記案内表示は、第1案内表示と、該第1案内表示よりも視認性の低い第2案内表示と、を含み、

前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域と、を含み、

前記特定演出は、

前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出し、前記発光手段が発光する演出であり、

第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であつて、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記第1表示領域において、前記演出動画と、前記特別状態表示と、前記第1案内表示と、を表示可能であり、

前記第2表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間において、

演出結果として有利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、

演出結果として不利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示した状態で、前記第1表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、

前記第1期間と前記第2期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることが可能であるとともに、前記第2期間において、前記第1期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることが可能である。

【手続補正7】

10

20

30

40

50

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】

10

20

30

40

50